

融合プロジェクト

「誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり」に対しての
私達の提言

20班

笹弥真帆
竹端慶

服部翔太
田中凜

濱田咲
坂本博斗

1. どのような役割から考えたか

班員

- | | | |
|---|------|----|
| ① | 笹弥真帆 | 心理 |
| ② | 服部翔太 | 経済 |
| ③ | 濱田咲 | 教育 |
| ④ | 竹端慶 | 医療 |
| ⑤ | 田中凜 | 工学 |
| ⑥ | 坂本博斗 | 医療 |

2. 私たちの提言

『学びの環境を整える』

～能登に誇りと愛着が持てるような
「学び」の場づくり～

〈学びの環境の再建〉

- 精神・医療面での支援
- 教育の場でのさらなるICTの活用



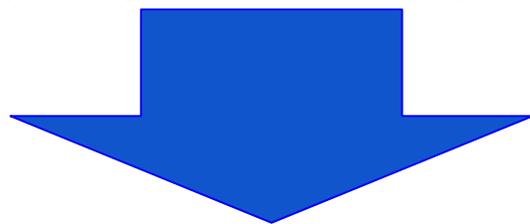
3. 過去の事例・現状

【精神・健康面】

- ・災害時の学校関係者のストレス
- ・医療的ケア児の存在

【ICTの活用】

- ・ICTが機能しない
⇒被災して満足に学習ができない期間が長引く



教育格差の是正

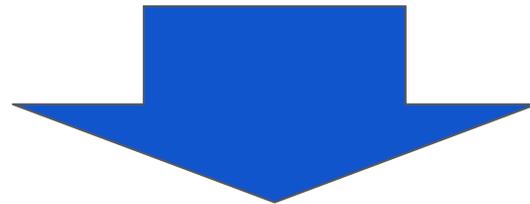
4. 見込める効果

【精神・医療面】

- ・学校関係者の精神面での支援
- ・医療的ケア児の支援

【被災時のICTの活用】

- ・授業動画や小テストでの学習



誰もが教育を平等に教育を受けられる環境を整える

5. 実施するために

【精神・健康面】

- ・スクールカウンセラーの活用
- ・医療的ケア児コーディネーター所属先との連携



【ICTの活用】

- ・県主導の教員や学生、保護者に向けた講習会
⇒ICTの利用方法や存在の認知度を高める